

## ビブリオバトル

### 中学生・高校生による ビブリオバトル (知的書評合戦) を実施して

埼玉県内で盛り上がりつつあるビブリオバトルを今年の「図書館と県民のつどい」で開催しました。ビブリオバトルとは、「人を通して本を知る 本を通して人を知る」という知的書評合戦。まさに「図書館と県民のつどい」ぴったりの読書活動です。

#### 1 ビブリオバトルって？

「ビブリオバトル」とは、バトラーがおススメ本の魅力を5分で語り、観覧者が一番読みたくなった「チャンプ本」を投票で決めるスポーツのような書評会です。ビブリオバトルは2007年に谷口忠大教授(現 立命館大学情報理工学部 知能情報学科 准教授)によってはじめられました。

「人の脳は自分が話さないと活性化しないのだ。『即興性』を大切に、みんなが探してきた本をレジュメもなく紹介し合い、その中で一番イイ本を勉強すればいいんじゃないか?」という谷口先生の考えのもと、広がっていったビブリオバトル。埼玉県でも、埼玉県教育委員会主催「彩の国 高校生ビブリオバトル2014」が10月4日に開催されるなど、広がりを見せています。

#### 2 「図書館と県民のつどい」初のビブリオバトル バトラーの面々

今回のバトラーは、県内のビブリオバトルの大会に参戦した中・高校生にお願いしました。市内でビブリオバトルの大会を開いているさいたま市と三郷市の中学生と、「彩の国

高校生ビブリオバトル2014」で上位入賞した高校生たちです。

#### 3 当日の様子

当日は公式ルールにのっとり、発表5分、質疑2分でビブリオバトルを行いました。

紹介された本、そして紹介してくれたバトラーは下記のとおりです。

(敬称略)

片野樹理 さいたま市立浦和中学校

紹介本『ハケンアニメ!』

辻村 深月 著 (マガジンハウス)

山本瑞稀 三郷市立早稲田中学校

紹介本『名前探しの放課後』

辻村 深月 著 (講談社)

安井彩乃 埼玉県立春日部女子高等学校

紹介本『凍りのくじら』

辻村 深月 著 (講談社)

根岸雄一郎 埼玉県立熊谷西高等学校

紹介本『メンタリズム 恋愛の絶対法則』

D a i G o 著 (青春出版社)

今村大哉 埼玉県立松山高等学校

紹介本『数学ガール』

結城 浩 著 (SBクリエイティブ)

ビブリオバトルのテーマは自由だったのですが、午前中に辻村深月さんの講演があったため、辻村さんの本を選んだバトラーが3人もいました。中学生のバトラーは緊張しながらも初々しく、高校生のバトラーは回を重ねていく中で落ち着いた発表になりました。

チャンプ本には、安井彩乃さん(埼玉県立春日部女子高等学校)が発表した『凍りのくじら』 辻村深月 著(講談社)が選ばれました。

ビブリオバトル

当日、ビブリオバトルを観戦された方からは、「初めて参加したが、大変楽しかった。中・高校生の素晴らしいプレゼンに感動しました。将来が楽しみです。」「どの本も読みたくなりました。来年のビブリオバトルも観覧したいです。事業の継続をお願いします。」等の感想を数多くいただきました。

当日の準備・運営等の御指導をいただきました関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

